

奈良市公民館運営審議会会議録

平成27年 7月9日会議

平成27年度第1回奈良市公民館運営審議会会議録

開催日時	平成27年7月9日(木) 午後 2時30分から午後4時30分まで	
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第21会議室	
議 題	1 平成26年度公民館事業実施状況及び利用状況について 2 平成27年度公民館事業計画について 3 平成26年度公民館大会についての報告 4 平成27年度公民館大会について 5 その他	
出席者	委 員	井内委員、大場委員、岡川委員、粕井委員、川村委員、権藤委員、島岡委員、田中委員、伏浦委員、宮辺委員、八木委員、吉田委員 【計12人出席】
	事務局	教育長、教育総務部長、教育総務部次長、生涯学習課長、生涯学習財団理事、生涯学習財団事務局長、生涯学習財団事務局次長
開催形態	公開(傍聴人0人)	
決定事項	—	
担 当 課	教育総務部 生涯学習課	
議事の内容		
<p>○出席者の紹介等 出席者を紹介した後、会議への出欠状況を確認し、奈良市公民館条例施行規則第4条第2項の規定に基づき、会議が成立することを報告</p> <p>○教育委員会の挨拶 教育長から挨拶</p> <p>○会議の進行について 奈良市公民館条例施行規則第3条第2項の規定に基づき、会長が審議会を代表し、議長として会議を進行することを報告</p> <p>○会議録の署名について 議事に入る前に議長から今回の署名委員の指名及び確認(粕井委員と川村委員)</p>		

【案件1】平成26年度公民館事業実施状況及び利用状況について

財団事務局長

平成26年度の利用状況は、生涯学習センターを含む24館で、総利用件数42,245件、総利用人数606,801人でした。昨年度に比べ、件数で410件の増加、人数では7,003人が減少しています。利用件数が増え、利用人数が減少している理由の一つには、1グループの構成人数が高齢化等の理由により減少している等が考えられます。

平成26年度の主催事業は24館合計で事業件数459件、開催回数2,296回となり、延べ78,456名の方に受講いただきました。平成25年度と比較すると、実施回数で71回の増加、受講者数は、延べ8,110名の増加となっています。

大型館では、大人数を収容できるホールを持つ・最寄り駅から近い等の施設の特徴や立地を活かした事業展開を図りました。生涯学習センター実施の「古典文学講座」、中部公民館実施の「春日大社第六十次式年造替」を記念した実行委員会との共催事業、西部公民館実施の奈良大学との共催事業「西部市民カレッジ」などが特に人気講座であり、多くの市民の方に参加いただきました。

地区公民館では、地域の特色・素材・課題に対応し工夫をこらした事業展開に取り組み、地域の課題や現代的な課題の解決に向け、事業を奈良市全域で展開しました。

平成22年より現代課題の中から『高齢者』『男女』『青少年』『家庭教育』『共生』の5つを重点分野と定め、積極的に取り組んでおり、各分野の特色ある事業を紹介します。

『高齢者』分野では、富雄公民館実施の「とみお❀ゆるやか健康体操」です。地域の高齢者を対象とした無理なく行える簡単な体操で、自由参加であること、気軽にできる運動機会を提供したことで参加者同士の親睦も促進されました。その結果、講座終了後も自主グループとして活動を継続されています。

平城西公民館実施の「平城西公民館手作りサロン」は、地域のコミュニティーに参画や外出する機会が減っている高齢者を対象として、外出するきっかけづくりをしようと地区民生児童委員協議会との共催で、公民館を「集いの場」として活用した事業です。毎回異なる手作り品を制作することにより飽きる事なく作品完成の達成感を感じていただけました。得意分野で互いに教え合うという手法も取り入れ、参加者のやりがいにもつながる講座となりました。

『男女』の分野は、富雄南公民館実施の「男のボディメンテナンス」と「キレイと健康をつくる☆女性のストレッチ」です。これらの講座は、もともと同館で実施していた「からだ」の状態をノートに記録することで健康を見つめ直し、より健康

になるために体操とヨガなどをとり入れた講座「からだノート」の受講経験者を対象に実施しました。男性向けの講座では、健康の知識として調理やヨガなどを取り入れ「知識と栄養と運動」をテーマとしました。女性向けの講座では「家事や育児、仕事に追われる女性に自分の体を見つめ運動習慣を身につけてもらうこと」をテーマとしました。どちらもあえて同性同士だけの講座にすることで、他の人(異性)に対して必要以上に気兼ねすることなく参加でき、より深く健康意識を高めることができ好評を得ました。

『青少年』の分野は、田原公民館実施の「チャレンジ和太鼓」です。日本古来の伝統文化の良さを再発見し次世代に継承する世代の違う大勢の人が一緒に練習や演奏をすることで、青少年と成人のふれあいの場となることを目的に実施しました。

春日公民館実施の「かすがわくわくサイエンスラボ」は、光をテーマにして万華鏡作りなど、今、学校ではあまり使わない素材を使って行う実験やものづくりを通して、子ども達に理科的分野の不思議さやおもしろさを学んでもらいました。

『家庭教育』の分野は、西部公民館実施の「おとうさんと秘密会議」です。父親と子どもが共同作業をすることで、よりよい親子関係を構築することを目的としました。1回目は片づけをテーマに収納方法などを学び、2回目は父子でクリスマスツリーを作り、3回目はお母さんへプレゼントをするジャム作りを学びました。親子で共に過ごす時間を大切にすることと家族の絆を深めることができました。

登美ヶ丘公民館実施の「じいじとばあばこれ聞いて！～次世代育児に関わるコツ～」は、祖父母が育児に関わるためには現在の子育てについて理解する必要があり、そのことをみんなで学ぼうという講座です。

都跡公民館実施の「みあと教育力パワーアップ講座～あなたに知ってほしい 子ども虐待のこと～」では、児童虐待についての基礎知識・市の事例や市子育て相談課の虐待に対する取り組みを学びました。また子どもに接する時の言葉かけ体験を学習し、地域ぐるみで子どもを見守っていく気運が高まる良い機会となりました。

『共生』の分野は、中部公民館実施の「災害時のトイレから防災を考える」です。災害時のトイレ事情について現状を知り、課題や対策について学ぶことで防災意識を高めることを目的としました。防災関係の講座は、多くの地域や公民館でも取り組んでいますが、災害時に直面するトイレ問題「排泄を考える」という新しい視点で学習会を実施しました。

南部公民館実施の「南部平和のつどい」は、戦争やその中で起きる悲惨な出来事を忘れないために、子どもから大人までが平和について学び考える機会を提供するという目的のもと、平和をテーマにした朗読とアカペラコンサート

を実施しました。

生涯学習支援活動事業として、別途奈良市から委託を受け、実施している事業を報告します。

1つめは「奈良ひとまち大学」です。「奈良ひとまち大学」は、奈良に暮らす20代～30代の人達が、世界に誇る奈良の魅力を再発見する学びの場を創るという目的を持ち、実施しています。奈良市を丸ごとキャンパスに見立て、奈良で魅力的な人・文化・自然・モノに出会い・学ぶという考えで、今までにはなかった新しい学びの場を提供しています。平成22年9月に開校して以来、財団職員でプロジェクトチームを作り、職員の専門性やネットワークを活用し、毎月第4土曜日、日曜日を中心に事業計画し、平成26年度は特別授業を含め37回実施しました。開校以来の総授業回数は177回となり、日頃公民館になじみの少ない世代をターゲットにして、市内の色々な場所を活用し、公民館ではできない一味違った授業を実施してきました。平成26年度も回を重ねるごとに人気・知名度・評価も上がり、毎回、定員を大きく上回る受講申し込みをいただいています。平成26年度の参加人数は延べ984人、開校以来の受講人数は、延べ4,596人となりました。

2つめは「奈良市子育てスポット事業」です。この事業は、奈良市子ども育成課からの委託を受け実施しています。前年度に続き11の公民館で毎月2回実施しました。概ね0～3歳児とその保護者を対象に子育て中の親同士の交流、悩みの共有、専門的なアドバイス等を行っています。また、子育てから離れ自由な時間を持ってもらうことも目的としています。平成26年度は、7,127人の参加がありました。平成25年度は5,516人の参加でしたので、今年度は1,611人の増加となりました。この事業の趣旨である子育て中の親同士の情報交換やストレスの緩和などへの満足度が高く、引き続き実施していきたいと考えています。

「生涯学習フェスタ2015」について報告します。公民館活動1年間の集大成・学んだことの発表の場として、毎年開催しています。公民館の活動を広く市民の皆様に発信し学びのきっかけづくりとしてもらうことや、学ぶ仲間同士の交流を図ってもらうことを目的としています。2015年は「公民館からつながる学びの和」というテーマを設けさまざまな発表や体験コーナーを設置し、2日間にわたり開催しました。奈良ひとまち大学の特別授業の同時開催もあり、これまでに公民館の利用経験のなかった人達にも公民館の事業や取り組みを広く発信でき、学びの和が広がったと考えています。

東部の5つの公民館で実施の、農作業などの体験を通して田舎暮らしを知ってもらい人生の生きがいの発見や農業への魅力を感じてもらう「アクティブシニ

ア農業体験事業」や、奈良県公民館連絡協議会より委託を受けている「地域課題の解決を目指すモデル公民館等プロジェクト事業」を若草公民館や月ヶ瀬公民館で実施しました。これらの取り組みを通し、高まる市民の学習意欲と多様なニーズに対応し、地域における「学びの場」「地域づくりの拠点」としての機能を強化してきました。市民の学習活動を促進するとともに、地域の学校や各種団体、関係機関との連携を図りながら、地域の課題解決に向けての支援に努めることが出来ました。

会長

平成26年度公民館事業実施状況及び利用状況について「特に特色ある事業」「奈良ひとまち大学」「生涯学習フェスタ2015」その他数多くの実施事業について、何かご意見・ご質問はありませんか。

委員

公民館の利用状況ですが、平成25年度と比べ平成26年の件数は増えているのに人数は減っているというのは、高齢化による1グループの構成人数が減っているからという解釈をされていましたが、平成22年度からの大きな流れから見ると、件数も減っています。これはどういうことでしょうか。また、平成25年から同26年の件数が増えているのは、どういう要因によるものか説明してください。主催事業も同じように、平成22年からの統計でいうと一貫して増えているのかどうかお聞かせください。

財団事務局長

公民館全体の利用状況ですが、資料では平成22年度からの数字を載せていますが、平成22年・23年・24年度については大体同じようなペースで増減をしています。平成25年度で大きく数字が減っているのは、利用状況に対するカウントの仕方を改めたからです。例えば、1つのグループが2つの部屋を利用されている場合や、午前・午後・夜間を通して利用されている場合に当初は、それぞれでカウントしていましたが、同一グループが多部屋・多時間利用の場合は、1つのグループとしてカウントするように改めました。実際の件数としては少しですが増えています。主催事業についても増えてきています。

【案件2】平成27年度公民館事業計画について

財団事務局長

平成27年度も「学習機会の場の提供」「地域の皆様の自主学習の支援」「地域の活動の拠点」として地域課題に対応し、各種団体との連携を図った事業展開を進めていきます。平成27年度は、事業予定件数396件、回数1,568回、募集定員は8,904人を計画しています。加えて、定員を設けない自由入場の講座もあり、更に多くの市民の皆様にご参加いただけます。

講座内容は今までの実施状況を踏まえ、それぞれの内容に工夫を加えました。重点項目については、昨年同様『高齢者』『男女』『青少年』『家庭教育』、そして昨年度の『共生』を『現代的課題』とわかりやすく移行させた上で、計5つとしました。この5つの重点項目に沿って、新しい視点からの地域のニーズにあ

った地域課題の解決に向けた事業を各公民館で積極的に展開していきます。

平成27年度の自主グループの登録件数についてご報告します。6月現在の登録団体件数は、24館全体で 1,726団体です。昨年の同時期(1,722)と比べますと、若干増えており、継続して活発な活動を期待しています。

平成27年度も「奈良ひとまち大学」は奈良の魅力的なひととまちを紹介することで、多くの人々に奈良の魅力を発見し続けたいと考えています。奈良市を丸ごと大学のキャンパスに見立て、「文化財」「奈良を元気にする人」「社寺」「伝統産業」「奈良の食」の5つのシリーズと特別授業をあわせ、全部で38回を予定しています。授業を受けることで、「奈良」の素晴らしさ、おもしろさ、魅力、私たちが暮らす「奈良」の凄さを感じてもらい、愛着を深めてもらうことを目的とし、各地域・市全域の活性化も目指しています。今年は開校5周年を迎えるため、9月に5周年記念授業の計画も進めています。

平成27年度の「子育てスポット事業」は、今年度も11の公民館で実施します。各館で、月2回、計24回の実施を予定しており、子育て親子の交流、相談子育て情報交換の場を提供します。

その他、東部の5つの公民館での「アクティブシニア農業体験事業」、中部・南部・北部の5つの公民館でモデル事業として実施する「家庭教育支援事業」、奈良県公民館連絡協議会からのモデル事業として、若草・月ヶ瀬公民館で「地域課題の解決を目指すモデル公民館プロジェクト」などを実施します。以上の事業を通して、平成27年度も奈良市および地域の教育力の向上と活性化に努めてまいります。

会長 非常に幅広い内容ですので、全ての事業を発表するには至っておりませんが、どうか委員の皆さんには後程でもご清覧ください。

ただいまの計画案について何かご意見、ご質問はございませんか。

委員 生涯学習センターを含め24館の公民館と、従来(昔)から各地域・地区に在る集会所(地元では公民館と呼んでいる建物)との交流はどのようにしているのか、あるいは、していないのかということをお聞かせください。

各地域のニーズをどのようにして汲み取っているか、その手段などをお聞かせください。

「奈良ひとまち大学」の募集はどのようにされているのかお聞かせください。

財団事務局長 地域の集会所や公民館分館も含めてですが、個々の連携としては各地域で様々です。公民館分館を利用して、通常公民館で実施している事業を「出前講座」として開催するなど、それぞれの地域での開催は今後も少しずつすすめていこうとしています。

地域のニーズの把握については、公民館は中学校区に1館設置されているので各種団体と連携をとることで「今地域で何が求められているか」「何を提供すればよいのか」を一緒に考える機会を多くとっております。公民館から外に出向いて行くことを大切に、そういう機会に、各地域の課題やニーズをいただいています。また、事業に参加された方々にその都度、アンケートを実施しており、さまざまな要望・ご意見をいただきますので、それらに対応することでもニーズに対応できると考えています。

「奈良ひとまち大学」の募集方法ですが、募集対象を20代、30代を主としておりますが、この世代だけに限定してはおりません。しみんだよりや、生涯学習財団・奈良ひとまち大学のホームページでもその都度募集をしています。

委員

提案ですが、地域にある自治会長や役員の方との交流をされた方が良いと思います。自治会連合会等の方々と話をされる時に、上手くいっている事例などを話すことで、地域的な特色のあるニーズが出てくるのだと思います。公民館の事業に参加している元気な方からだけのアンケートでは充分ではないと思います。地域の弱者の意見を日頃から聞いている自治会の役員の方々にも話を聞くことが必要ではないでしょうか。

財団事務局長

今後そのような方向でもすすめていきたいと思います。

委員

「奈良ひとまち大学」のことですが、これは一年で終了ということですか。

財団事務局長

「奈良ひとまち大学」は一年間を通して同じ方が普通の学校のように一年間通っていただくものではありません。授業ごとに申し込みをいただいております。

委員

5周年を迎えられるということですが、今までに受講された方のその後の成果はどうですか。実際に何か事を起こしておられる方はいますか？

財団事務局長

この授業を受けていただいて奈良の魅力を感じていただき、新たにならまちにお店を出された方や起業の準備をはじめられた方もいらっしゃいます。

委員

いつも楽しそうなプログラムなので注目しておりました。

委員

公民館の事業の実施内容を見ていたら北部会館のものが記載されていないようなのですが、こちらは公民館ではなかったですか。

財団事務局長

北部会館は公民館ではなく、文化振興施設です。

会長

奈良市には24の公民館と称される建物があり、そこは奈良市生涯学習財団

が指定管理者として配置されています。各小学校区に一つぐらい昔から分館があります。この分館は、地元からは公民館としか思われていないし、呼び方も公民館です。分館は地域の自治連合会や自治会が指定管理者となっています。どちらにしても、各地域で活発に公民館活動をしていただけるのはありがたいことなので、そこで出てきた問題については、奈良市生涯学習財団等に問いかけていく、また将来は公民館と分館が何らかの関連を持って活動できるような場になればよいのではと思います。それに対しては予算の問題もあり、すぐにはできないと思いますが、どうぞ地域においては活発に分館を活用していただきたいと思います。

【案件3】平成26年度公民館大会についての報告

・第36回全国公民館研究集会

平成26年10月16日(木)～17日(金)

委員

埼玉県で開催された全国公民館研究集会のテーマは、「公民館よ あつくなれ～時代の変化に対応し、地域との連携を深める公民館をめざして～」でした。社会教育法に基づいて全国に公民館ができてから今年で68年です。その中で公民館は教育文化の向上、地域づくりをはじめ、人づくり、絆づくり、住民の心の支え、学びの拠点として生涯学習の推進に大きな役割を果たしてきました。ところが、バブル崩壊後、全国に約35,000館あった公民館が約15,000館と、当時の3分の1強に減っているというのが現状です。全国各市町村の財政難も関係あるようです。今回の大会では、もっと活発に活動しようと励まされ、公民館創設の原点に戻りなさいということを強く教わりました。安心安全な地域社会の構築を目指して活動していくべきではないかということでした。

記念講演では、地元出身の作家 森村誠一氏の講演「人生の証明～実りある人生の実りとは～」を拝聴し、自分自身の余生期間をボランティア活動に打ち込もうかと感銘を受けました。

第5分科会の「伝統文化を継承する公民館」というテーマを持つ分科会で、「富岡のよさを伝える人材の育成～富岡学の開設を通して～」に参加しました。昨年、世界文化遺産に富岡製糸場が登録され、たくさんの方が訪れるようになり、まちも活気づいている状況だそうです。とすれば、古都奈良は、「古事記」「日本書紀」「万葉集」と文化源流地でもあり、8つの世界遺産を持っており、富岡市の8倍の人が出入りしてもいいのではないかと感じました。富岡市の公民館は12館と社会教育館が1館、比べて奈良市は24館もあります。数多くの公民館がありながら、もっと奈良のよさをPRすべきではと反省をしました。

世界の方々を迎えるような、観光地といえば「奈良」と言われるような奈良にしていきたいと思います。自治会や生涯学習財団、奈良市全体が一体となって盛り上げていくべきではないかと思いました。

会長 第62回近畿公民館大会の報告をお願いします。

・第 62 回近畿公民館大会 <大阪大会>

平成26年11月14日(金)

委員 貝塚市で開催されました近畿公民館大会では、記念講演の「地域の再生に公民館は何ができるか～住民主体の学びと協働が公民館の希望を拓く～」を拝聴しました。公民館活動は昭和21年から続いており「寺中構想」という言葉を初めて聞きました。現在は、人間関係など現代の社会情勢とは合わなくなっており、公民館を利用して活動する若者が少なくなり、公民館は存続の危機を迎えているとのことでした。記念講演をされた和歌山大学の堀内先生は、昨年、公民館職員の研修のため奈良へ来られています。自分には全く違う世界の話のように聞こえ勉強不足だと感じました。自分自身も公民館活動の基本的理念のような勉強に参加したいと感じました。

第3分科会の「人権と公民館活動」に参加しました。若草公民館長 仲野英明氏の「共に認め合い、学び合う公民館活動～住み慣れた地域でみんなで支えあい～」の発表を聴きました。60歳からの「若草おしゃべりサロン」にかつての公民館活動の経験者が参加されるようになり、結果、口コミによる参加者が増えたということで、地域に根ざした活動だと感じました。

これまで携わってきた青少年健全育成活動の経験から人権学習に参加することを特別であると感じたことはありませんでしたが、人権を難しいものや特別なものと捉えられる方もいること、また、人権学習は高齢者の話が多いことなど、人権というものは難しい分野だと感じました。

会長 第62回奈良県公民館大会の報告をお願いします。

・第 62 回奈良県公民館大会

平成 26 年 9 月 16 日(金)

委員 基調講演
「今こそ社会教育！！～社会教育委員と公民館の果たす役割について～」

社会教育についての話ではありましたが、高齢化社会についての話となり、社会教育といっても人が集まらない、人の力を引き出すファシリテーションやコミュニケーションの場を増やす事が難しい、どこの地域でも高齢化が目立つというお話でした。

第1分科会について「社会教育委員の地域貢献」

川上村も高齢化が深刻で若い方が頑張っておられますが、人が集まってこな

い現状であり、奈良市も一緒ではないでしょうか。地域では、一人暮らしが増えており、認知症の方もどんどん増えてきています。食事会やカルタなどでコミュニケーションを図っていますが、住民の力だけではどうしようもない気がしています。高齢者が高齢者のお世話をする状態なっているので、根本的に何か考えていかなくてはいけないと感じました。観光も大事ですが、高齢化について考えていくのも大事なことだと思いました。

委員

第3分科会「公民館の活動」について

中央公民館の活動と市民協働というテーマで香芝市社会教育委員・公民館運営審議会会長の発表を聴きました。香芝市の説明、公民館活動、利用者数や各種講座の紹介がありました。

行政中心で開催していた公民館まつりを平成25年度から市民の手で開催するようになり、公民館登録団体から2名ずつ実行委員になり、それぞれ役割を持って実施されるようになったということです。

公民館の成果:入門講座を取り入れた結果、多くの新規加入があったこと。

公民館の課題:登録団体の高齢化による会員数の減少していること。

公民館活動の成果:行政推進型から市民協働型に移行したことで、市民の意向が反映しされ、参加者が増加したこと。

公民館活動の課題:少ない費用最大の効果をあげるための工夫や努力が必要であること。また、市の公共機関としていつでもだれでも学べる公民館となるよう市民と一体となって進めていくことが必要であること。

奈良市の公民館活動は他よりも優れて活発で、奈良の方が生き生きと活動されているように感じました。

【案件4】公民館大会について

事務局

第37回全国公民館研究集会、第63回近畿公民館大会、第63回奈良県公民館大会について詳細を説明。出席者は下記のとおり。

全国公民館研究集会	鳥取市	10/15～16	粕井委員
近畿公民館大会	京都府長岡京市	11/19～20	権藤委員
奈良県公民館大会	奈良市	9/4	大場委員・田中委員

【案件5】その他

会長 その他ご意見ご要望等ございませんか。事務局からもございませんか。

事務局 本日はお忙しいところありがとうございました。

会長 大場委員より冊子「かがやき」と「ひびき2部」を提供いただきましたのでご清覧
ください。平成27年度第1回奈良市公民館運営審議会を終わります。

資 料

会議次第

委員名簿

平成27年度公民館要覧及びその他事業資料

平成26年度公民館大会の報告資料

平成27年度公民館大会の資料

平成27年度奈良市教育目標